

令和元年度第1回経営会議概要

- 1 開催日時：令和元年5月9日（木） 9:00～9:10
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」の次期計画策定に向けた考え方について

●中野課長【企画課】（資料1-1～1-3に基づき説明）

次期計画については、6月の議会で策定方針を示していきたいと考えている。

策定方針に向けた現時点の考え方としては、県民カビジョンは見直しを行わず、第三次行動計画として策定することとしており、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」としても位置づけて、一体的に取り組んでいく。計画期間は、現行動計画と同じ4年間とし、県民カビジョンに掲げる「協創」や「新しい豊かさ」の基本理念は継承しつつ、施策展開の視点として「地方創生」、「Society 5.0」、「SDGs」を取り入れていく。

策定の基本的な方向性として、施策や基本事業、数値目標について、見直しの一定のルールに基づき点検していただき、計画そのもののスリム化とともに、計画策定のプロセス、策定後の進行管理までのスリム化を図っていき、施策や基本事業のスリム化にもつなげていきたい。数値目標については、現行動計画の県民指標、県の活動指標をそれぞれ施策の主指標と副指標として、施策の評価を行ううえで適切な指標を設定していく。

今後、6月に策定方針、9月に中間案、11月に最終案を示し、翌2月に議案として提出したうえで、4月に公表する予定である。

☆大橋子ども・福祉部長

数値目標の見直しの考え方について、主指標と副指標の関係はよりロジックツリーに近づけていくということか。

●中野課長

現行動計画の県民指標と活動指標の関係について、活動指標が達成できれば、県民指標も達成できていないといけないのではないかと有識者の意見もいただいているが、県民指標には県の施策以外に外部要因の影響もあると思うので、必ずしも両指標が連動する関係にあるわけではないと考えている。県の施策の達成状況が分かるものとして主指標を置き、それを補完するものとして副指標を置くと定義したいと考えている。

☆福永戦略企画部長

あくまでも施策のための指標を複数作ることとしたい。

☆知事

2つある。各部局で個別計画を作る時期でもあり、戦略企画部からルールを示すということなので、そのルールを念頭に置いて各個別計画も作るように。それぞれの計画が出来上がってきた段階で摺り合わせてみたら、整合が取れないということのないように、部局長だけでなく、各担当者においても、行動計画と各個別計画の両方の作業が進んでいるということを念頭に置いて、両方の計画が良いものになるようにしてほしい。

もう1つは、見直しの例を戦略企画部から示してもらっているが、いろいろなことを見直すチャンスであるので、計画づくりだけでなく、施策や事業なども変えるべきものがあれば、各部からこうすればもっと効果的に、効率的に、分かりやすくなるということを提案してもらったらい。漫然とするのではなく、チャンスと捉えて、一度立ち止まってみて、真摯に見直しを行ってほしい。

以上